Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX S01

クールピクス S01

活用ガイド

ニコンデジタルカメラCOOLPIX S01をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」（□iii～vii）をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

本文中のマークについて

必要な情報を探すときにご活用ください。

カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

本書上で関連情報を記載した項目名です。

本書上で関連情報を記載した参照ページです。

表記について

- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

目次

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は次のようになっています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠危険（カメラについて）

使用禁止

コンセントから充電するときは専用の本体充電ACアダプターを使う

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

カメラからもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告（カメラについて）

警告

カメラからもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

分解禁止

分解、修理や改造をしない

異常動作や感電などのケガの原因になります。

接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。

すぐに修理依頼を

電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。

プラグを抜く

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、カメラの電源をOFFにして、電源を外す

そのまま使うと、火災、やけどの原因となります。

すぐに修理依頼を

電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。電源を外す際、やけどに十分に注意してください。

禁止

通電中のカメラに長時間直接触れない

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。

発光禁止

車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと

事故の原因となります。

発光禁止

フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと

視力障害の原因となります。
特に乳幼児を撮影するときは1 m以上離れてください。

保管注意
幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。

保管注意
ストラップが首に巻きつかないようにすること
特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと
首に巻き付いて窒息の原因となります。

使用禁止
充電時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない
感電の原因になります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

使用禁止
変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告
充電の際に、所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは充電をやめる
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

注意（カメラについて）

感電注意
ぬれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。

保管注意
製品は、幼児の手の届く所に置かない
ケガの原因になることがあります。

保管注意
使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること
太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

使用注意
航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする
病院では、病院の指示に従う
本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。

プラグを抜く
長期間使わないときは本体充電AC アダプターを外すこと
火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。
本体充電ACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。

発光禁止
内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと
やけどや発火の原因になることがあります。

禁止
布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります。

警告（本体充電ACアダプターについて）

分解禁止

分解したり、修理や改造をしない

異常動作や感電などのケガの原因になります。

接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。

すぐに修理依頼を

電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

プラグを抜く

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

すぐに修理依頼を

電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに十分に注意してください。
電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。

使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。

警告

電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること

そのまま使用すると、火災の原因になります。

使用禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

禁止

ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと

また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと

ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。

禁止

通電中のACアダプターに長時間直接触れない

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

感電注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと
感電の原因となります。

禁止

海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)や DC/AC インバーターなどの電源に接続して使わないこと
発熱、故障、火災の原因となります。

注意（本体充電ACアダプターについて）

感電注意

ぬれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。

放置注意

製品は、幼児の手の届く所に置かない
ケガの原因になることがあります。

禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

ご使用の前にご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のホームページから登録をお願いします。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（本体充電ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●説明書について

- 説明書の一部または全部の無断転載を固くお断りいたします。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDFファイルを下記のホームページからダウンロードできます。

  http://www.nikon-image.com/support/manual/

  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラを譲渡/廃棄するときのご注意

カメラ内蔵メモリー内のデータは、カメラやパソコンで初期化または削除しただけでは完全には削除されません。譲渡/廃棄した後にデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。カメラを譲渡/廃棄する際は、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影するようおすすめします。なお、[**HOME画面デザイン**] の背景画像 (□54) も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

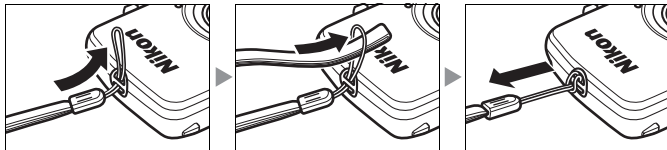
VCCI-B

準備する

1 箱の中身を確認する

- ❏COOLPIX S01カメラ本体
- ❏ストラップ
- ❏本体充電ACアダプター EH-69P※
- ❏USBケーブル UC-E16
- ❏使用説明書
- ❏安全上のご注意
- ❏保証書

• 万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。

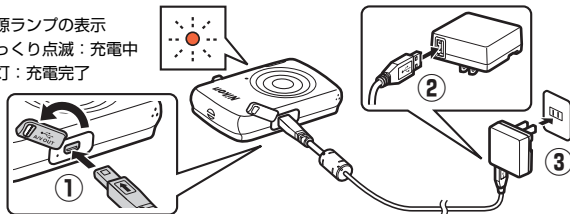
2 ストラップを取り付ける

このカメラは、充電池とメモリーを内蔵しています。市販のメモリーカードは使用できません。

3 カメラを充電する

ご購入後にはじめてカメラを充電するときは、必ず本体充電ACアダプターでカメラを充電してください。

❶カメラの電源がOFFになっていることを確認してから、付属のUSBケーブルでカメラと本体充電ACアダプターを接続する（①、②）

❷電源プラグをコンセントに差し込む（③）

- 充電には約2時間50分かかります。

❸充電が完了したら、コンセントから本体充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外す

本体充電ACアダプターで充電しているときにカメラの電源をONにした場合は、カメラの動作が以下のように制限されます。

- 再生モード（29）のみ使用できます。撮影はできません。
- 充電に時間がかかります。

電源ランプの表示：カメラの電源ランプの状態と意味は以下のとおりです。

ゆっくり点滅（オレンジ色）：充電中です。

消灯：充電していません。ゆっくりした点滅（オレンジ色）から消灯に変わると、充電の完了です。

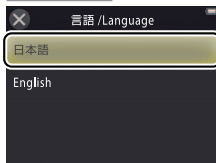
速い点滅（オレンジ色）：

- 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が5 ℃ ～ 35 ℃の室内で充電してください。
- USB ケーブルが正しく接続されていません。正しく接続し直してください。

日時の設定（3）後は、パソコンとカメラをUSBケーブルで接続しても充電できます（62）。

4 撮影の準備をする

❶電源をONにする

❷表示言語をタッチする

❸ 日時設定の選択画面で［**はい**］をタッチする

❹ 自宅のある地域（タイムゾーン）を選ぶ

- 地域を選ぶには、◀または▶をタッチします。
- 夏時間を設定するには、をタッチします。
- 決定するには、OKをタッチします。

❺ 年月日の表示順をタッチする

カメラの時計は内蔵充電池で動いています。内蔵充電池が切れた場合は、カメラの充電後に電源をONにすると、日時の設定画面が表示されます。必ず日時を設定し直してください。

言語や日時の設定をやり直す： セットアップメニュー（53）の［**言語/Language**］（60）または［**地域と日時**］（56）で、言語や日時を変更できます。

❻ 日時を合わせる

- 日時を変更するには、変更したい項目をタッチして選び、▲または▼をタッチして数値を設定します。
- 決定するには、OKをタッチします。

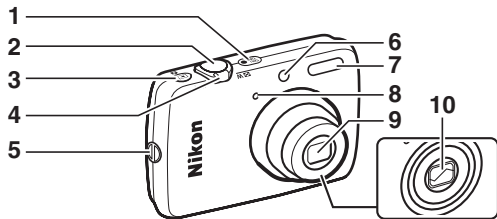
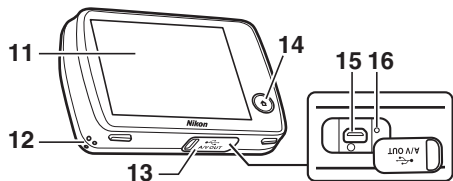
❼ 日時の確認画面で［**はい**］をタッチする

❽ HOME画面デザインをタッチする

- 決定するには、OKをタッチします。

設定が完了すると、HOME画面が表示されます。

➔ HOME画面を使う .... 🕮7

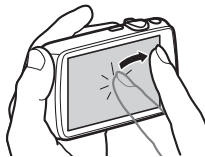
各部の名称

1	電源スイッチ/電源ランプ	2、5
2	シャッターボタン	9
3	▶（再生）ボタン	29
4	ズームレバー	9、33、34
5	ストラップ取り付け部	1
6	セルフタイマーランプ	19
	AF補助光	13
7	フラッシュ	20
8	マイク	15
9	レンズ	
10	レンズバリアー	
11	液晶モニター /タッチパネル	6
12	スピーカー	30
13	端子カバー	2、46、48、52
14	HOMEボタン	7
15	USB/オーディオビデオ出力端子	2、46、48、52
16	リセットボタン	72、79

電源をONにする/OFFにする：電源スイッチを押すと、カメラの電源がONになります。もう一度押すと、カメラの電源がOFFになります。

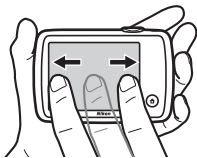
- 再生モード（□29）で電源をONにするには、▶ボタンを長押しします。レンズを繰り出さずに電源をONにできます。

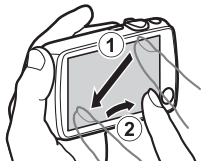
タッチパネルを使う

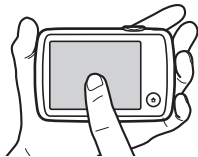
このカメラの液晶モニターは、指などで画面に触れて操作するタッチパネルになっています。操作方法は以下のとおりです。

タッチ

タッチパネルに触れて離す操作です。

ドラッグ

タッチパネルに触れたまま動かし、離す操作です。

ドラッグアンドドロップ

タッチパネルに触れたまま、目的の位置まで動かし（①)、離す（②）操作です。

長押し

タッチパネルに触れ続ける操作です。

タッチパネルについてのご注意：

- 先のとがった硬い物で押さないでください。
- タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 市販の保護フィルムを貼ると反応しないことがあります。

タッチパネル操作時のご注意：

- ドラッグ時に以下の操作をすると、適切に動作しないことがあります。
  - タッチパネルをはじく
  - 指を動かす距離が短すぎる
  - タッチパネルを軽くなでるように指を動かす
  - 指を動かす速度が速すぎる
- タッチ時に、タッチパネルの他の部分に何かが触れていると、適切に動作しないことがあります。

カメラの設定を変更する

撮影や再生などのモードの切り換えや設定の変更をするには、HOME画面を使います。HOME画面を表示するには🏠ボタンをタッチします。

撮影

静止画を撮影できます（📖8）。

再生

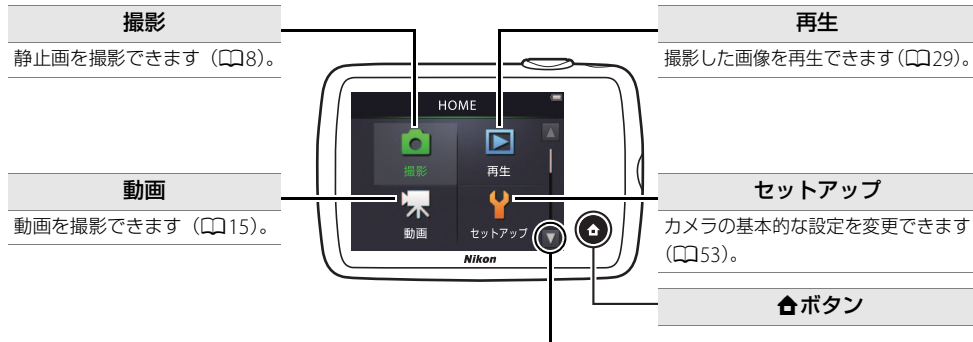
撮影した画像を再生できます（📖29）。

動画

動画を撮影できます（📖15）。

セットアップ

カメラの基本的な設定を変更できます（📖53）。

🏠ボタン

メニューを表示する

選択中のモードの設定を変更するには、メニューを使います。メニューを表示するには▼をタッチします。

➔ 撮影メニュー.....................📖12
➔ 動画メニュー.....................📖17
➔ 再生メニュー.....................📖32

- メニューは、HOME画面を上にドラッグしても表示できます。

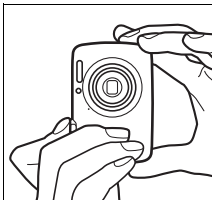
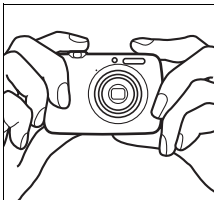
撮る

簡単な撮影

静止画を撮影する

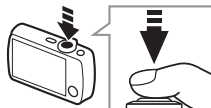
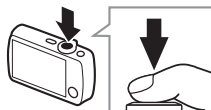
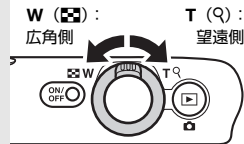
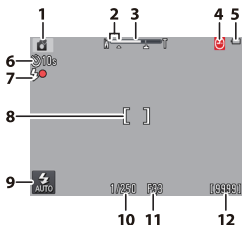
1 ボタンをタッチする

2 [撮影] をタッチする

3 カメラを構えて構図を決める

- 電池とメモリーの残量 10
- シャッターボタンの半押しと全押し 9
- セルフタイマー 19
- フラッシュ 20
- 特殊効果をつける 22
- 露出補正 23
- 画像サイズ 24
- タッチ撮影 25
- 静止画撮影時のご注意 13

カメラの構え方：

- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュの位置をレンズよりも上にしてください。

4 シャッターボタンを半押ししてピントと露出を固定（ロック）する

5 シャッターボタンを全押しして撮影する

ズーム機能を使うには、ズームレバーを操作します。

シャッターボタンの半押しと全押しとは：シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止める操作を、「シャッターボタンを半押しする」といいます。次に、そのまま深く押し込んでシャッターをきることを「シャッターボタンを全押しする」といいます。

画像を見る 29
画像を削除する 42

撮影モードの情報表示

表示される情報：カメラの設定や状態によって異なります。情報は電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に一部が消えます。再表示するにはDISPをタッチします。

フォーカスの表示

- シャッターボタンを半押しすると、AF エリアまたは AF 表示でフォーカスの状態を確認できます。
  - **緑色：**ピントが合っています。
  - **赤色（点滅）：**ピントが合っていません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを押してください。
- フォーカスの表示は、カメラの状態によって異なります。

表示	説明
⌜ ⌟	顔を認識したとき
[ ]	顔を認識していないとき
AF●	電子ズーム使用時

電池残量表示

表示	説明
(電池アイコン：満)	残量は十分に残っています。
(電池アイコン：少)	残量が少なくなりました。カメラを充電してください。
❶電池残量がありません	撮影できません。カメラを充電してください。

記録可能コマ数：メモリーの残量と［**画像モード**］（□24）の設定によって異なります。

撮影シーン：このカメラは撮影シーンを判別し、以下のモードの中からシーンに適した設定を選びます。

：ポートレート、：風景、：夜景ポートレート、：夜景、：クローズアップ、：逆光、：その他の撮影シーン

- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。
- フラッシュモードを［**強制発光**］（20）にしているときは、撮影シーンが（その他の撮影シーン）に固定されます。

モーション検知：カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度を上げて、シャッタースピードを速くします。シャッタースピードと絞り値の表示は緑色になります。

フラッシュ：フラッシュモードがAUTO［**自動発光**］（初期設定）のときは、撮影シーンに応じてカメラが自動的にフラッシュを発光することがあります。フラッシュを発光させないようにするには、をタッチして、フラッシュモードを［**発光禁止**］にします（20）。

日時未設定：撮影画面でが点滅した場合は、日時が設定されていません。必ず日時を設定してください（56）。

撮影メニューを使う

撮影モードで⌂ボタンをタッチして、▼をタッチすると、撮影メニューを表示します。設定を変更するには、▲または▼でメニュー項目を表示してタッチします。

セルフタイマー	シャッターボタンを全押ししてから約10秒後にシャッターがきれます。	🕮19
フラッシュ	フラッシュモードを設定できます。	🕮20
スペシャルエフェクト	画像に特殊効果をつけて撮影できます。	🕮22
露出補正	画像の明るさを調整できます。	🕮23

画像モード	画像のサイズを変更できます。	🕮24
タッチ撮影	画面をタッチしてもシャッターがきれるよう設定できます。	🕮25

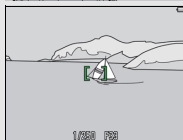
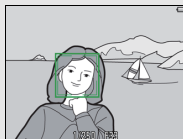
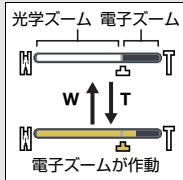
静止画撮影時のご注意

電子ズームの使い方：光学ズームの最大倍率でズームレバーを**T**方向に操作すると、電子ズームが作動し、さらに約4倍まで拡大できます。

- 電子ズームは画像をデジタル処理で拡大するため、光学ズームとは異なり、画質が画像モード（24）や電子ズーム倍率によって劣化します。ズーム表示のマークは、静止画撮影で画質の劣化が始まるズーム位置を示します。画像サイズの小さい画像モードほど、画質を劣化させずにより大きく拡大できます。

- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別はになります。

オートフォーカスの動作

- 顔を認識した場合、ピントを最も手前にあると判断した顔に合わせます。
- 顔を認識していないときや電子ズーム使用時は、ピントを画面中央で合わせます。

AF補助光

暗い場所などでシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのためにAF補助光（5）が点灯することがあります。AF 補助光が届く距離は、広角側で約1.4 m、望遠側で約0.8 m です。

オートフォーカスが苦手な被写体：以下のような被写体では、ピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。ピントは、シャッターボタンをもう一度半押ししたり、構図を変えたりすると合うことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

撮影シーン（クローズアップ）：撮影シーンがの場合は、ズーム表示にマークが表示されます。ズーム位置が**W**との間のときは、ズーム表示が緑色になり、クローズアップ撮影ができます。

- 広角（**W**）端：先端レンズ面中央から5 cmまで近づいて接写できます。
- マークの位置：先端レンズ面中央から20 cmまで近づいて接写できます。

タッチ撮影：初期設定では、シャッターボタンを使わずに、画面上の被写体をタッチするだけでシャッターがきれます（□25）。カメラが顔を認識しているときは、枠で囲まれた顔をタッチすると、タッチした顔にピントを合わせてシャッターがきれます。

節電機能：カメラを操作しない状態がしばらく続くと、液晶モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプを点滅してお知らせします。待機状態が約3分続くと、電源はOFFになります。待機状態の液晶モニターを点灯するには、電源スイッチ、シャッターボタン、▶ボタンのいずれかを押します。

動画を撮影する

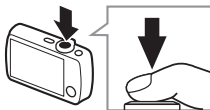
1 ⌂ボタンをタッチする

2 ［動画］をタッチする

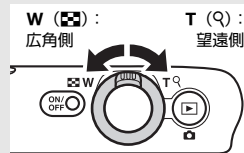
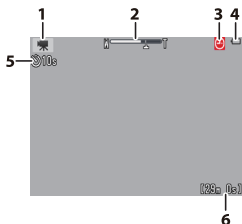
➔ セルフタイマー................📖19
➔ 特殊効果をつける............📖22
➔ 露出補正............................📖23
➔ タッチ撮影........................📖25
➔ ピントの合わせ方を選ぶ
....📖27
➔ 画像サイズ........................📖28
➔ 動画撮影時のご注意.........📖18

3 構図を決める

4 シャッターボタンを全押しする

5 シャッターボタンを全押しして、撮影を終了する

動画を表示するには、▶ボタンを押します。

➔ 動画を再生する ....📖30
➔ 動画を削除する ....📖42

ズーム機能を使うには、ズームレバーを操作します。

動画モードの情報表示

1	動画モード表示	15
2	ズーム表示	15、18
3	日時未設定	11、56
	訪問先	57
4	電池残量表示	10
5	セルフタイマー	19
6	記録可能時間	28

動画撮影時は、ピントは画面中央で合わせます。ピントが合うと、AF表示が緑色に点灯します。ピントが合っていないときは赤色に点滅します。

動画メニューを使う

動画モードで⌂ボタンをタッチして、▼をタッチすると、動画メニューを表示します。設定を変更するには、▲または▼でメニュー項目を表示してタッチします。

セルフタイマー	シャッターボタンを全押ししてから約10秒後に動画撮影を開始します。	19
AFモード	動画撮影時のピントの合わせ方を設定できます。	27
スペシャルエフェクト	動画に効果をつけて撮影できます。	22
露出補正	動画全体の明るさを調整できます。	23

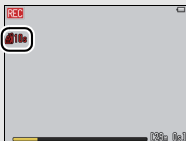
動画設定	動画を記録するときの画像サイズを変更できます。	28
タッチ撮影	画面をタッチしても動画撮影を開始または終了できるよう設定できます。	25

動画撮影時のご注意

動画撮影についてのご注意：

- 動画の撮影を開始すると、光学ズームは使えません。
- 電子ズーム（📖13）を使うと、画質は劣化します。電子ズームは、光学ズームの最大倍率の約4倍まで拡大できます。
- ズームレバー、シャッターボタンなどの操作音、オートフォーカス、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画の撮影では、液晶モニターにスミア（📖68）が発生すると、記録される動画にもスミアの影響が残ります。スミアの影響を避けるため、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体（布地や建物の格子窓など）に色のついた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で、故障ではありません。

カメラの温度：

- 動画撮影などでカメラを長時間使った場合や、周囲の温度が高い場合、カメラ内部の温度が上昇することがあります。
- 動画撮影中にカメラ内部が極端に高温になると、カウントダウンが表示され、カウントダウン時間で撮影を自動終了して、カメラの電源がOFFになります。

オートフォーカスについてのご注意：

- 動画メニューの［**AFモード**］（📖27）が**AF-S**［**シングルAF**］（初期設定）のときは、ピントは動画撮影開始時に固定（ロック）されます。ピントは動画撮影を開始する前に合わせてください。シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行い、半押ししている間はピントと露出を固定（ロック）します。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（📖13）では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するには、次の方法をお試しください。

1. **撮影前に動画メニューの［AF モード］（📖27）を AF-S［シングルAF］（初期設定）にする**
2. **等距離にある別の被写体を画面中央に捉えて、シャッターボタンを半押ししてピントと露出を固定（ロック）する**
3. **構図を変えてシャッターボタンを全押しする**

いろいろな撮影

セルフタイマーを使う

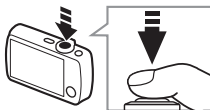
モード 📷🎥 **操作** ⌂ボタン → ▼ → セルフタイマー

シャッターボタンを全押ししてから約10秒後に撮影します。

1 [セルフタイマー] をタッチする

2 [ON] をタッチする

3 シャッターボタンを半押ししてピントと露出を合わせる

4 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動すると、シャッターがきれるまでの秒数が液晶モニターに表示されます。作動中はセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯してお知らせします。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは［**OFF**］になります。
- セルフタイマーを撮影を中止するには、シャッターボタンをもう一度押します。
- ［**タッチ撮影**］（□25）が［**ON**］のときは、画面をタッチしてもセルフタイマーが動作します。

- 設定を変更せずに戻るには、⊖をタッチします。

フラッシュの設定を変える

モード 📷　**操作** ⌂ボタン → ▼ → フラッシュ

フラッシュの発光モードを設定できます。

1［フラッシュ］をタッチする

2 使いたい発光モードをタッチする

アイコン	モード	説明
⚡AUTO	自動発光（初期設定）	シーンに応じて、暗い場所などでフラッシュを自動で発光します。
⊘	発光禁止	フラッシュを発光しないようにします。
⚡	強制発光	必ずフラッシュを発光します。

シャッターボタンを半押しすると、フラッシュの状態を確認できます。

点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
消灯：発光しません。

フラッシュの光が十分に届く距離は、広角側で約0.5〜1.4 m、望遠側で約0.5〜0.8 mです。

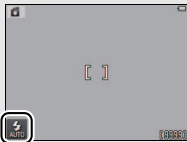
［**強制発光**］にしているときは、撮影シーン（□11）は📷（その他の撮影シーン）に固定されます。

設定を変更せずに戻るには、⊖をタッチします。

赤目軽減自動発光：このカメラは、フラッシュが本発光する前に、小光量で数回発光する「プリ発光」で赤目現象の発生を軽減します。さらに、画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します（アドバンスト赤目軽減方式）。

撮影する際は、以下にご注意ください。

- プリ発光するため、シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。
- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。

撮影時の画面で設定するには：撮影画面で をタッチしても発光モードを設定できます。

画像に特殊効果をつける

モード		操作	ボタン → → スペシャルエフェクト

下記のいずれかの効果をつけて撮影できます。

1 ［スペシャルエフェクト］をタッチする

2 使いたい効果をタッチして選ぶ

SEPIA	ノスタルジックセピア	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。
	硬調モノクローム	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
HI	ハイキー	画像全体を明るいトーンで表現します。
LO	ローキー	画像全体を暗いトーンで表現します。

効果を解除するには、OFFをタッチして選び、OKをタッチします。

設定を変更せずに戻るには、をタッチします。

3 OKをタッチする

画像の明るさを調整する（露出補正）

モード	📷 🎥	操作	🏠ボタン → ▼ → 露出補正

画像全体の明るさを調整します。

1［露出補正］をタッチする

2 ＋または－をタッチして露出補正値を選ぶ

スライダー

+側の補正:画像を明るくします。
ー側の補正：画像を暗くします。

露出補正値は、バーをタッチするか、スライダーをドラッグしても選べます。

前の画面に戻るには、↩をタッチします。

3 OKをタッチする

画像のサイズを設定する

モード	📷	操作	⌂ボタン → ▼ → ▼ → 画像モード

静止画記録時の画像サイズを選べます。

1［画像モード］をタッチする

画像モードの設定は、電源をOFFにしても保持されます。

2 使いたい画像サイズをタッチする

画像モード	記録可能コマ数※1、2	プリント時の大きさ※3
10M 3648×2736（初期設定）	約3000コマ	約31×23 cm
4M 2272×1704	約7600コマ	約19×14 cm
2M 1600×1200	約14500コマ	約14×10 cm

※1 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。
※2 JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。
※3 出力解像度を 300dpi に設定した場合のサイズです。ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）×2.54 cm で計算しています。

設定を変更せずに戻るには、↩をタッチします。

タッチ撮影を設定する

モード	📷 🎥	操作	⌂ボタン → ▼ → ▼ → タッチ撮影

画面をタッチしたときに、静止画や動画を撮影するかどうかを設定できます。

1 ［タッチ撮影］をタッチする

2 ［ON］または［OFF］をタッチする

ON	ON（初期設定）	画面をタッチしてもシャッターがきれます。動画撮影時は、画面をタッチして撮影の開始と終了ができます。
OFF	OFF	画面をタッチしてもシャッターはきれません。

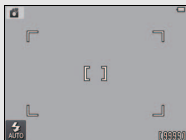
画面をタッチするときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがありますのでご注意ください。

［**ON**］に設定していても、シャッターボタンを押して撮影できます。

設定を変更せずに戻るには、⏎をタッチします。

画面をタッチして[ ]が表示されたときは、シャッターがきれません。[ ]の内側または顔認識して枠で囲まれた顔をタッチしてください。

セルフタイマー（19）を設定してから画面の被写体をタッチすると、ピントと露出が固定され、約10秒後にシャッターがきれます。

タッチ撮影の設定は、電源をOFFにしても保持されます。

動画撮影時のAFモードを選ぶ

モード	🎥	操作	ボタン → ▼ → AFモード

動画撮影時のピントの合わせ方を設定できます。

1 ［AFモード］をタッチする

AFモードの設定は、電源をOFFにしても保持されます。

2 使いたいAFモードをタッチする

AF-S	**シングルAF（初期設定）**	被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。ピントは、動画撮影を開始したときに固定（ロック）します。
AF-F	**常時AF**	被写体との距離が変化する撮影に適しています。動画撮影中、常にピント合わせを繰り返します。

［**常時AF**］に設定した場合は、ピント合わせ時の動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、［**シングルAF**］での撮影をおすすめします。

設定を変更せずに戻るには、をタッチします。

動画の画像サイズを変更する

モード 📽 操作 ⌂ボタン → ▼ → ▼ → 動画設定

動画記録時の画像サイズを設定できます。

1 ［動画設定］をタッチする

動画設定は、電源をOFFにしても保持されます。

2 使いたい動画設定をタッチする

動画設定	アスペクト比（横：縦）	ビットレート※1	記録可能時間※1、2
720p **HD 720p（1280×720）（初期設定）**	16：9	約9 Mbps	約1時間40分
VGA **VGA（640×480）**	4：3	約3 Mbps	約3時間

※1 数値は目安です。撮影する絵柄によって、ビットレートおよび記録可能時間は異なります。

※2 1回の撮影で記録できる時間（連続撮影可能時間）は最長29分です。連続撮影可能時間内でも、長時間の撮影時や周囲の温度が高い場所での撮影時は、カメラの内部が高温になり、撮影が途中で終了することがあります。

撮影フレーム数は、いずれの設定も約30フレーム/秒です。

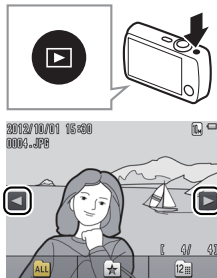
設定を変更せずに戻るには、⊖をタッチします。

見る

簡単な再生

静止画を再生する（1コマ表示）

▶ボタンを押すと、再生モードに切り換わり、最後に保存した画像を表示します。

- 前後の画像を表示するには、◀または▶をタッチします。長押しすると早送りします。
- 前後の画像は、画像を左右にドラッグしても表示できます。
- 撮影に戻るには、シャッターボタンを押すか▶ボタンをもう一度押します。

➔ 動画を再生する……………… 30
➔ 拡大表示する………………… 33
➔ 複数の画像を一覧表示する ……………………………… 34
➔ 画像をお気に入りに登録する ……………………………… 35
➔ お気に入り画像を表示する ……………………………… 37
➔ 撮影した日付ごとに表示する ……………………………… 38
➔ スライドショーで見る …… 39
➔ 画像に効果をつける ……… 40
➔ 削除する……………………… 42

前後の画像を表示した直後は、表示が粗いことがあります。

HOME画面で［**再生**］をタッチしても画像を再生できます。

動画を再生する

▶ボタンを押して再生モードにします（📖29）。動画を表示して、▶をタッチすると再生します。

動画再生中の操作

以下の操作をするには、再生中の液晶モニターをタッチして操作パネルを表示します。

⏸	一時停止する
▶	再生を再開する
⏪/⏩	巻き戻しする/早送りする
◀II/II▶	コマ戻しする/コマ送りする
🔊	音量を調節する
■	再生を終了する

再生中にズームレバーを操作しても音量を調節できます。

再生モードの情報表示

表示される情報：表示される情報は、画像の種類やカメラの状態によって異なります。情報は操作時などに表示され、数秒後に一部が消えます。画像をタッチすると、情報の表示と非表示を切り換えられます。

全画像数：お気に入り画像のみ再生しているとき（37）および撮影日ごとに再生しているとき（38）は、全画像数は再生できる画像の枚数になります。

再生メニューを使う

再生モードで⌂ボタンをタッチして、▼をタッチすると、再生メニューを表示します。機能を実行するには、▲または▼でメニュー項目を表示してタッチします。

▲ ▼

▲ ▼

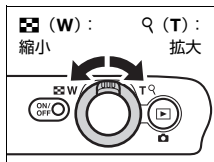
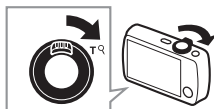
削除	複数の画像を一括して削除できます。	44
お気に入り	画像をお気に入りに設定できます。	36
フィルター効果	撮影した画像にいろいろな効果をつけられます。	40
スライドショー	撮影した画像を、記録された順番に1コマずつ連続再生できます。	39
プリント指定	ダイレクトプリントするときに、どの画像を何枚プリントするかをあらかじめ指定できます。	50

いろいろな再生

画像を拡大表示する

1コマ表示中にズームレバーをQ（**T**）方向に操作すると、画像を拡大して表示できます。

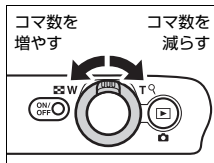
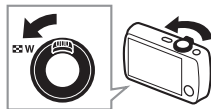
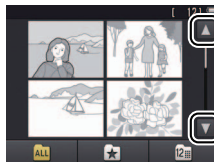
- 拡大率を変更するには、ズームレバーを操作します。

- 表示位置を移動するには、▲▼◀▶をタッチするか、画面をドラッグします。
- 画像を削除するには、🗑をタッチして、削除方法の選択画面を表示します（📖44）。
- 拡大表示を解除するには、✖をタッチするか、画像をすばやく2回タッチします。

表示位置ガイド

- 動画ファイルは拡大表示できません。
- 約10倍まで拡大できます。
- 画像を2回すばやくタッチしても拡大表示できます。
- 顔認識して撮影した画像は、認識した顔を中心に拡大表示します。複数の顔を認識していたときは、☺または☺をタッチすると、表示する顔が切り換わります。

複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示）

1コマ表示中にズームレバーを▦（**W**）方向に操作すると、複数のサムネイル画像（4コマ/9コマ/16コマ）を一覧表示できます。

- 表示するコマ数を変更するには、ズームレバーを操作します。

- 前後の画像を表示するには、▲ または ▼ をタッチするか、画面を上または下にドラッグします。
- 1コマ表示に戻るには、画像をタッチするか、ズームレバーを🔍（**T**）方向に操作します。

画像をお気に入りに登録する

画像をお気に入りに登録すると、登録画像のみをまとめて再生できます。また、お気に入り画像は削除できなくなるため、大切な画像を誤って削除することを防ぎます。

➔ 複数の画像を一括して登録する ……………………………… 36

➔ お気に入り画像のみを表示する ……………………………… 37

▌▌再生中の画像をお気に入りに登録する

画像を再生中に、1コマずつ登録します。

1 登録したい画像を表示する

2 ★が表示されるまで画像を長押しする

3 ★をタッチするか、画像を★へドラッグアンドドロップする

カメラのメモリーを初期化（フォーマット）すると、お気に入り画像も削除されますのでご注意ください。

お気に入りに登録できる画像は999コマまでです。

画像の拡大表示中は、画像を長押しし続けても★は表示されません。✖をタッチして1コマ表示に戻してください。

お気に入りを解除するには、画像をもう一度長押しして、★をタッチします。

複数の画像をまとめてお気に入りに登録する

モード	▶	操作	⌂ボタン → ▼ → お気に入り

再生メニューの［**お気に入り**］を使うと、複数の画像を一括してお気に入り登録できます。

1 ［お気に入り］をタッチする

➔ お気に入り画像のみを表示する ……37
➔ 画像を再生中に1コマずつ登録する ……35

2 お気に入りに登録したい画像をタッチして、✓マークをつける

お気に入りを解除するには、✓マークのついた画像をもう一度タッチして、✓マークを非表示にします。

お気に入り登録をやめるには、↩をタッチします。

3 OKをタッチする

お気に入り画像のみを表示する

画像の再生中に🅰をタッチすると、お気に入りに登録した画像のみを表示できます。

お気に入り再生

➔画像をお気に入りに登録する 35

すべての画像を表示するには、ALLをタッチします。

撮影した日付ごとに表示する

同じ撮影日の画像のみを絞り込んで再生できます。

1 画像の再生中に🗓をタッチする

日付ごとに再生

2 表示したい日付を▲または▼で表示して、タッチする

表示できる画像は、最新の画像から9000コマまでです。

日時を設定せずに撮影した画像は、「2012年1月1日」の画像として扱われます。

撮影日のリストには最大で30日分の日付が表示されます。それ以上前の撮影日は、まとめて［**過去画像**］として表示されます。

すべての画像を表示するには、ALLをタッチします。

スライドショーで見る

モード ▶ 操作 ⌂ボタン → ▼ → スライドショー

撮影した画像を、記録された順番に1コマずつ連続再生できます。

1 ［スライドショー］をタッチする

2 再生する画像の対象をタッチして、スライドショーを開始する

スライドショーの操作方法

スライドショー再生時に液晶モニターをタッチすると、操作パネルが表示されます。

⏸	一時停止する
▶	再生を再開する
⏪/⏩	巻き戻しする/早送りする
🔊	音量を調節する
■	再生を終了する

動画は1フレーム目だけを表示します。

スライドショーの連続再生時間は、最大30分です。

［**お気に入りのみ**］を選ぶと、お気に入りに登録した画像（□35）のみを絞り込んで再生します。［**日付ごと**］を選ぶと、撮影日のリストが表示されます。日付をタッチすると、同じ撮影日の画像のみを絞り込んで再生します。

スライドショーを再生せずにやめるには、⮌をタッチします。

再生中にズームレバーを操作しても音量を調節できます。

画像に効果をつける（フィルター効果）

モード	▶	操作	⌂ボタン → ▼ → フィルター効果

撮影した画像にいろいろな効果をつけられます。効果をつけた画像は元の画像とは別に、異なるファイル名で保存されます（□66）。

1 ［フィルター効果］をタッチする

2 効果をかけたい画像を▲または▼で表示して、タッチして選ぶ

3 OKをタッチする

✔ フィルター効果についてのご注意：

- 動画には、フィルター効果はつけられません。
- フィルター効果で作成した画像には、フィルター効果はつけられません。
- メモリーに十分な空き容量がないときは作成できません。
- COOLPIX S01以外のデジタルカメラでは、COOLPIX S01で編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。

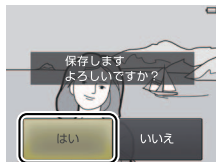
元画像と編集画像の関係：

- 編集画像の撮影日時は、元画像と同じです。
- お気に入り登録（□35）やプリント指定（□50）の設定は、編集画像には反映されません。

4 使いたい効果をタッチして選び、OKをタッチする

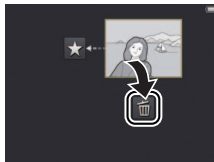
TOY	トイカメラ風	画像の周辺部を暗くして、色調などを調整し、トイカメラで撮影したような画像にします。
SOFT	ソフト	画像の中心部から外側をぼかしたようなソフトな雰囲気にします。顔認識して撮影した画像は、顔の周囲をソフトにします。
	魚眼効果	魚眼レンズで撮影したような画像にします。
	ミニチュア効果	ミニチュア（模型）を接写したような画像にします。
VI	ビビッドカラー	鮮やかな色調にします。
BW	白黒	白黒写真にします。
SE	セピア	セピア色のモノトーンにします。
C	クール	ブルー系のモノトーンにします。

フィルター効果をやめるには、をタッチします。

5 確認画面で［はい］をタッチする

画像を削除する

メモリーに記録した画像を削除できます。削除した画像は元に戻せないのでご注意ください。

画像を1コマずつ削除する

画像を再生中に、1コマずつ削除します。

➔ 複数の画像を一括して削除する ……………………🕮44

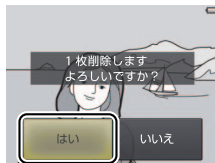
1 削除したい画像を表示する

お気に入りに登録した画像は削除できません。削除するには、登録をあらかじめ解除（🕮35）してください。

2 🗑が表示されるまで画像を長押しする

画像の拡大表示中は、画面左下に表示された🗑をタッチします（🕮33）。

3 🗑をタッチするか、画像を🗑へドラッグアンドドロップする

4 確認画面で［はい］をタッチする

削除をやめるには、確認画面で［**いいえ**］をタッチします。

複数の画像をまとめて削除する

モード	▶	操作	⌂ボタン → ▼ → 削除

再生メニューの［**削除**］を使うと、複数の画像を一括して削除できます。

1 ［削除］をタッチする

2 削除の方法をタッチする

削除画像選択		選択した画像を一括して削除します。削除したい画像を▲または▼で表示してから、タッチして✓マークをつけます。設定が終了したらOKをタッチします。
ALL	**全画像**	すべての画像を削除します。
	削除日付選択	選択した撮影日の画像を一括して削除します。削除したい日付を▲または▼で表示してタッチします。

3 確認画面で［はい］をタッチする

➔画像を再生中に1コマずつ削除する 42

お気に入りに登録した画像は削除できません。削除するには、登録をあらかじめ解除（35）してください。

たくさんの画像を削除するときは時間がかかることがあります。

選択（✓）を解除するには、もう一度タッチしてマークを非表示にします。

削除した画像は元に戻せません。

削除をやめるには、⮌をタッチするか、確認画面で［**いいえ**］をタッチします。

パソコンに画像を取り込む

ViewNX 2をインストールする

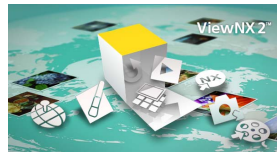
ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有を可能とするソフトウェアです。ViewNX 2のインストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。ViewNX 2の最新情報、動作環境は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

1 パソコンを起動して、下記のアドレスからViewNX 2のインストーラーをダウンロードする
http://nikonimglib.com/nvnx/

2 ダウンロードしたインストーラーのファイルをダブルクリックする

3 画面の指示に従ってインストールする

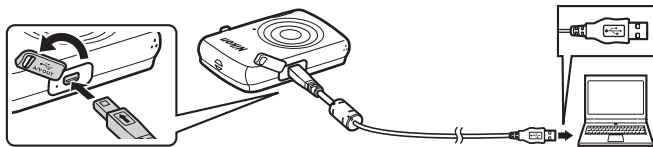
4 インストールを終了する

- Windows：［**はい**］をクリック
- Mac OS:［**OK**］をクリック

➔ ViewNX 2を使う..............🕮46
➔ プリンターで印刷する .....🕮48
➔ プリントする画像をあらかじめ指定する..........................🕮50
➔ テレビで画像を見る ....🕮52

［**インストールガイド**］をクリックすると、ViewNX 2 のインストール方法のヘルプを表示します。

ViewNX 2を使う

1 カメラの電源をOFFにする

2 付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続する

3 ViewNX 2のNikon Transfer 2を起動する

4 ［転送開始］をクリックして画像をパソコンに取り込む

5 カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜く

カメラとパソコンを接続すると、カメラの電源が自動的にONになり、カメラの充電が始まります(□62)。

起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2を選びます。

Windows 7をお使いの場合：

上の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。

1 **［画像とビデオのインポート］で使用するプログラムにNikon Transfer 2を選ぶ**
［**画像とビデオのインポート**］の［**プログラムの変更**］をクリックすると表示される画面で、［**画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用**］を選んで、［**OK**］をクリックします。

2 **［画像ファイルを取り込む］をダブルクリックする**

ViewNX 2 を手動で起動するには：

- Windows：デスクトップの［**ViewNX 2**］のショートカットアイコンをダブルクリックする
- Mac OS：Dock の［**ViewNX 2**］アイコンをクリックする

ViewNX 2 の詳しい使い方は：

ViewNX 2 のヘルプを参照してください。

画像をプリンターで印刷する

PictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンターをお使いの場合、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接接続して画像をプリントできます（ダイレクトプリント）。

カメラとプリンターを接続する

1 カメラの電源をOFFにしてからプリンターの電源をONにする

2 付属のUSBケーブルで、カメラとプリンターを接続する

- カメラの電源が自動的にONになり、画像の選択画面が表示されます。

1コマずつプリントする

1 ▲または▼で画像を表示して、OKをタッチする

2 ［プリント枚数設定］、［用紙設定］を設定する

3 ［プリント実行］をタッチする

➔ PictBridge（ピクトブリッジ）……84
➔ プリントする画像をあらかじめ指定する……50

電源についてのご注意：プリント中に電源が切れないように、プリンターと接続する前にカメラを十分に充電してください。

USBハブについてのご注意：USBハブに接続した場合の動作は保証していません。

プリントをやめるには、⮌をタッチします。

プリントする枚数は9枚まで設定できます。

複数の画像をプリントする

1 MENUをタッチして、プリントメニューを表示する

2 ［用紙設定］を設定する

3 プリントする方法をタッチする

プリント選択	プリントする画像（99コマまで）と枚数（各9枚まで）を選んでプリントします。 • 右側の ▲ または ▼ でプリントしたい画像を表示して、タッチして選びます。左側の▲または▼をタッチしてプリント枚数を設定します。 • プリント設定した画像には ✓ マークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像のプリント設定を解除できます。 • RESETをタッチすると、すべての画像のプリント設定を解除できます。 • 設定が終了したらOKをタッチします。 • 確認画面が表示されたら［**プリント実行**］をタッチします。
全画像プリント	メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントします。 • 確認画面が表示されたら［**プリント実行**］をタッチします。
DPOFプリント	再生メニューの［**プリント指定**］（□50）であらかじめ指定した画像をプリントします。 •［**画像の確認**］をタップすると、プリントする画像の一覧を表示できます。 • 確認画面が表示されたら［**プリント実行**］をタッチします。

［パソコン接続充電］（□62）を［AUTO］に設定したときのご注意：

- カメラを PictBridge 対応プリンターに接続しても、カメラの充電はできません。
- プリンターによっては、カメラをプリンターに接続して電源をONにしてもPictBridge画面が表示されず、プリントできない場合があります。カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外し、［**パソコン接続充電**］を［**OFF**］に設定してから、USBケーブルを接続し直してください。

プリントする画像をあらかじめ指定する（DPOF）

モード ▶ **操作** ⌂ボタン → ▼ → ▼ → プリント指定

画像をプリンターで印刷する（ダイレクトプリント）前に、どの画像を何枚プリントするかをあらかじめ指定できます。

1 ［プリント指定］をタッチする

➔ 画像をプリンターで印刷する 48

✎ 指定した内容でプリントするには、プリンターがDPOF規格（84）に対応している必要があります。また、DPOF対応プリンターによっては、日付や撮影情報を印字できないことがあります。

2 プリントしたい画像を選ぶ

- 右側の▲または▼でプリントしたい画像を表示して、タッチして選びます。左側の▲または▼をタッチしてプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には✓マークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像のプリント設定を解除できます。
- RESETをタッチすると、すべての画像のプリント設定を解除できます。
- 設定が終了したらOKをタッチします。

✎ プリントする画像は99コマまで、枚数は各9枚まで設定できます。

✎ プリント指定をやめるには、⮌をタッチします。

3 日付、撮影情報をプリントするかどうかを選んで、OKをタッチする

✎ 日付や撮影情報をプリントするには、［**日付**］または［**撮影情報**］をタッチして、チェックボックスをオン［✓］にしてください。

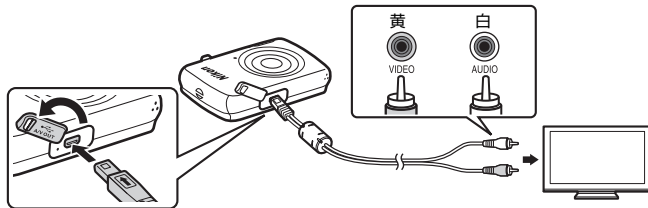
プリント指定についてのご注意

- プリント指定した後、再び［**プリント指定**］メニューを表示すると、［**日付**］と［**撮影情報**］の設定はリセットされます。
- プリントされる日付は、撮影時にカメラに設定されていた日時です。撮影後にセットアップメニューの［**地域と日時**］で［**日時の設定**］や［**タイムゾーン**］を変更しても、プリントされる日付には反映されません。

テレビで画像を見る

別売のオーディオビデオケーブル EG-CP14でカメラをテレビなどに接続すると、撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

1 カメラの電源をOFFにする

2 カメラとテレビを接続する

3 テレビの入力をビデオ入力に切り換える

4 ▶ボタンを長押しして、カメラの電源をONにする

- テレビに画像が表示され、カメラの液晶モニターが消灯します。

- 再生時の操作は、カメラでおこなってください。カメラの液晶モニターをタッチすると、テレビの表示が消え、カメラの液晶モニターが点灯します。
- カメラでの操作を完了後、しばらくするとテレビに画像が表示されます。

ケーブルを抜き差しするときのご注意：カメラの電源を必ずOFFにしてください。

テレビで画像を見るときのご注意：テレビ画面では、画像の周辺部が一部欠けて表示される場合があります。

画像がテレビに映らないときは：セットアップメニューの［**ビデオ出力**］(📖61) がお使いのテレビに合っているか確認してください。

テレビで画像を見るときの操作：

- 1コマ表示中にカメラの画面をドラッグすると、前後の画像を表示できます。
- 動画の最初のフレームが表示されたときは、カメラの画面をタッチすると動画を再生できます。
- 動画再生時の音量は、テレビで調節してください。カメラでは調節できません。

セットアップメニュー

セットアップメニューを使うと、カメラの基本的な設定を変更できます。🏠ボタンをタッチして［**セットアップ**］をタッチすると、セットアップメニューが表示されます。設定を変更するには、▲または▼でメニュー項目を表示してタッチします。

HOME画面デザイン	HOME画面のデザインを変更できます。	🕮54
オープニング画面	電源ON時の表示画面を設定できます。	🕮55
地域と日時	日時、日付の表示順、タイムゾーンを変更できます。	🕮56
操作音	操作音を鳴らないようにできます。	🕮58
メモリーの初期化	メモリーを初期化（フォーマット）できます。	🕮59
言語/Language	表示言語を変更できます。	🕮60
ビデオ出力	テレビやビデオに接続するときの出力形式を切り換えられます。	🕮61
パソコン接続充電	パソコン接続時に充電しないようにできます。	🕮62
設定クリアー	カメラの設定を初期状態に戻せます。	🕮64
バージョン情報	ファームウェアのバージョンを確認できます。	🕮65

HOME画面のデザインを変更する

操作 ⌂ボタン ➜ セットアップ ➜ HOME画面デザイン

HOME画面のデザインを選べます。

1 ［HOME画面デザイン］をタッチする

設定を変更せずに戻るには、をタッチします。

2 使いたいデザインをタッチして、OKをタッチする

（初期設定）	背景画像あり	

背景画像ありのデザインを選んだ場合は、背景画像の選択画面が表示されます。背景にする画像を選んでOKをタッチしてください。OFFを選ぶと、初期設定の背景画像に設定します。

電源ON時に表示される画面を設定する

操作 ⌂ボタン ➜ セットアップ ➜ オープニング画面

カメラの電源をONにしたときに、液晶モニターにオープニング画面を表示するかどうかを設定できます。

1 ［オープニング画面］をタッチする

設定を変更せずに戻るには、⊐をタッチします。

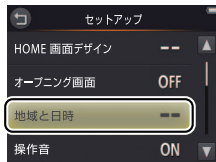
2 ［あり］または［なし］（初期設定）をタッチする

3 OKをタッチする

地域と日時を変更する

操作　**⌂ボタン ➜ セットアップ ➜ 地域と日時**

日時、年・月・日の表示順、ご使用の地域（タイムゾーン）を設定できます。

1 ［地域と日時］をタッチする

設定を変更せずに戻るには、をタッチします。

2 変更したい項目をタッチして設定する

日時の設定	日時を設定します。 • 変更したい項目をタッチします。 • ▲または▼をタッチして、数値を合わせます。 • OKをタッチして、設定を完了します。
日付の表示順	年・月・日の表示順を、［**年/月/日**］、［**月/日/年**］、［**日/月/年**］から選びます。
タイムゾーン	自宅（⌂）のタイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）を設定できます。また、訪問先（✈）のタイムゾーンに切り換えて、撮影日時を現地時間で記録できます（□57）。海外旅行などに便利です。

時差のある地域で使うときは

1 ［タイムゾーン］をタッチする

2 ✈［訪問先］をタッチする

3 🌐をタッチする

タイムゾーンの設定が✈［訪問先］のときは、撮影画面に✈が表示されます。

自宅のタイムゾーンに戻すには、手順2の画面で🏠［自宅］をタッチします。

設定を変更せずに戻るには、↩をタッチします。

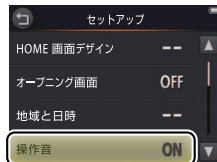
4 ◀または▶をタッチして訪問先の地域を選び、OKをタッチする

夏時間（サマータイム）を設定するには、☀をタッチします。時計が1時間進みます。元の時刻に戻すには、☀をもう一度タッチします。

操作音を鳴らさないようにする

操作 ⌂ボタン ➔ セットアップ ➔ 操作音

操作するときの電子音やシャッター音を鳴らすかどうかを設定できます。

1 ［操作音］をタッチする

2 ［ON］（初期設定）または［OFF］をタッチする

［**ON**］に設定すると、以下の場合に電子音またはシャッター音が鳴ります。

- シャッターを切ったとき
- 液晶モニターをタッチしたとき
- ピントを合わせたとき
- 警告時
- 電源をONにしたとき

設定を変更せずに戻るには、をタッチします。

メモリーを初期化（フォーマット）する

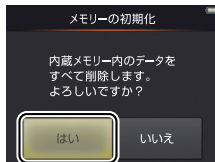
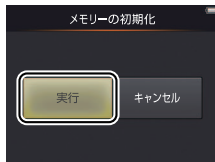
操作 ボタン ➜ セットアップ ➜ メモリーの初期化

メモリーを初期化（フォーマット）します。**メモリーを初期化すると、メモリー内のデータはすべて削除され、元に戻せません。**大切なデータは、パソコンなどにあらかじめ保存してください。

1 ［メモリーの初期化］をタッチする

メモリーを初期化すると、お気に入り画像（35）も削除されますのでご注意ください。

設定を変更せずに戻るには、をタッチします。

2 ［はい］をタッチする

3 ［実行］をタッチする

初期化が完了してセットアップメニュー画面に戻るまで、電源をOFFにしないでください。

表示言語を変更する

操作 ⌂ボタン ➜ セットアップ ➜ 言語/Language

メニュー画面やメッセージの表示言語を選べます。

1［言語/Language］をタッチする

設定を変更せずに戻るには、⊖をタッチします。

2 使いたい言語をタッチする

ビデオ出力の形式を切り換える

操作 ボタン ➜ セットアップ ➜ ビデオ出力

テレビやビデオなどに接続する場合のビデオ出力方式を設定します。

1 ［ビデオ出力］をタッチする

設定を変更せずに戻るには、をタッチします。

2 使いたい出力方式をタッチする

NTSC	NTSC方式のテレビなどへの接続時に使います。通常、日本国内でお使いの場合はこちらを選択します。
PAL	PAL方式のテレビなどへの接続時に使います。

パソコン接続時に充電しないようにする

操作 ボタン ➜ セットアップ ➜ パソコン接続充電

カメラとパソコンをUSBケーブルで接続したときに、カメラを充電するかどうかを設定できます。

1 [パソコン接続充電] をタッチする

➔本体充電ACアダプターで充電する 2

設定を変更せずに戻るには、をタッチします。

2 [AUTO] または [OFF] をタッチする

AUTO（初期設定）	カメラと起動済みのパソコンを接続すると、自動的にカメラを充電します。
OFF	カメラをパソコンに接続しても、カメラを充電しません。

パソコン接続充電時のご注意：

- ご購入後はじめてカメラを充電するときや、内蔵充電池が切れて日時がリセットされた場合は、必ず本体充電ACアダプターでカメラを充電して、日時を設定し直してください（□2）。日時がリセットされたまま再設定されていないときは、パソコンに接続しても充電やデータの転送はできません。
- カメラの電源をOFFにすると、カメラの充電も中止されます。
- パソコン接続充電中にパソコンが休止（スリープ）状態になると、充電を中止することがあります。充電中止の状態では、カメラの電源をOFFにするまで電池残量が消費されます。
- カメラとパソコンの接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルを外してください。
- 充電には約3時間10分かかります（電池残量のない場合）。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
- カメラとパソコンを接続すると、パソコンでNikon Transfer 2などのソフトウェアが起動する場合があります。充電だけをしたいときは、ソフトウェアを終了してください。
- 充電が完了し、パソコンとの通信がない状態が30分続くと、カメラの電源は自動的にOFFになります。
- パソコンの仕様、設定または状態によっては、カメラを充電できないことがあります。

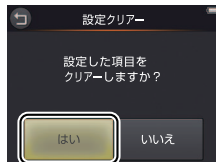
電源ランプの表示：パソコン接続中のカメラの電源ランプの状態と意味は以下のとおりです。

- **ゆっくり点滅（オレンジ色）：**充電中です。
- **消灯：**充電していません。ゆっくりした点滅（オレンジ色）から消灯に変わると、充電の完了です。
- **速い点滅（オレンジ色）：**
  - 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が5 ℃～ 35 ℃の室内で充電してください。
  - USB ケーブルが正しく接続されていません。正しく接続し直してください。
  - パソコンが休止状態（スリープ状態）で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。
  - パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。

カメラを初期設定に戻す

操作 ⌂ボタン ➜ セットアップ ➜ 設定クリアー

カメラの機能やメニューの設定を初期状態に戻せます。

［設定クリアー］をタッチして、確認画面で［はい］をタッチする

設定を変更せずに戻るには、⊖または［**いいえ**］をタッチします。

以下の設定が初期設定に戻ります。

機能	初期設定
カメラのモード（□7）	撮影
撮影メニュー /動画メニュー	
セルフタイマー（□19）	OFF
フラッシュ（□20）	自動発光
スペシャルエフェクト（□22）	OFF
露出補正（□23）	0
画像モード（□24）	3648×2736
タッチ撮影（□25）	ON
AFモード（□27）	シングルAF
動画設定（□28）	HD 720p（1280×720）

機能	初期設定
セットアップメニュー	
HOME画面デザイン（□54）	—
オープニング画面（□55）	なし
操作音（□58）	ON
パソコン接続充電（□62）	AUTO
PictBridge	
用紙設定（□48）	プリンターの設定

ファームウェアのバージョンを確認する

操作　ボタン ➜ セットアップ ➜ バージョン情報

カメラを制御するファームウェアのバージョンを表示します。

戻るには、をタッチします。

資料

記録データのファイル名とフォルダー名

➔ カメラのお手入れについて ……… 71
➔ カメラの取り扱い上のご注意 ……… 67
➔ 故障かな？と思ったら ……… 72
➔ 警告メッセージ ……… 78
➔ 主な仕様 ……… 81

このカメラで撮影した画像には、次のようなファイル名が付きます。

DSCN	静止画および動画
FSCN	フィルター効果で作成した静止画

JPG	静止画
MOV	動画

ファイルを保存するフォルダーは、「フォルダー番号＋NIKON」（例：100NIKON）という名前で、自動的に作られます。

フォルダー内のファイル数が200に達すると、新しいフォルダーが作られます（例：100NIKON→101NIKON）。ファイル番号が9999に達しても、新しいフォルダーが作られます。ファイル番号は0001に戻ります。

フォルダー番号が999のときに、ファイル数が200個に達するか、ファイル番号が9999になると、それ以上撮影できなくなります。メモリーを初期化（フォーマット）（59）してください。削除したくないデータは、パソコンなどにあらかじめ保存することをおすすめします（45）。

カメラの取り扱い上のご注意

カメラについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（📖iii～vii）をお守りください。

●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

●長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

●本体充電ACアダプターを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください。

電源がONの状態で取り外すと、故障の原因になります。特に撮影中やデータの削除中は、データの破損やカメラの故障の原因になります。

●液晶モニター画面について

- 液晶モニター画面は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 液晶モニターは、屋外では日差しの影響で見えにくいことがあります。

- 液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、ご注意ください。

●スミアについて

明るい被写体にレンズを向けると、液晶モニターに白色または色のついた光の帯が現れることがあります。撮像素子の特性上、強い光が入射すると発生する「スミア」という現象で故障ではありません。また、スミアの影響で液晶モニターに色ムラが現れることもあります。静止画の撮影では、記録される画像にスミアの影響はありません。動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

カメラの充電について

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(📖iii～vii)をお守りください。

●使用上のご注意

- 周囲の温度が0℃～40℃ の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。

●充電について

このカメラは、リチウムイオン充電池を内蔵しています。ご購入時にはフル充電されておりませんので、お使いになる前に本体充電ACアダプターで充電してください(📖2)。

- 周囲の温度が 5℃～35 ℃ の室内で充電してください。
- カメラ内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。
- カメラの使用直後など、カメラ内部の温度が高くなっているときは、カメラの温度が下がるのを待ってから充電してください。

- 内蔵充電池の温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
- 内蔵充電池の温度が45℃～60℃のときは、充電できる容量が減ることがあります。
- 充電が完了したカメラを、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- カメラの充電直後にカメラの温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

●低温時には十分に充電しておく

電池の性能は、一般的な特性として低温時に低下します。低温時には、カメラを冷やさないでください。低温時には、電池が消耗したカメラは動かないこともあります。カメラは保温しながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温に戻ると使える場合があります。

●電池残量のなくなったカメラは充電する

電池残量のなくなったカメラの電源スイッチのON/OFFを何度も繰り返すと、内蔵充電池の寿命に影響をおよぼすおそれがあります。電池残量がなくなったカメラは、充電してからお使いください。

●保管について

- カメラは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- 充電池内蔵カメラは、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

●充電池の寿命と交換について

カメラを十分に充電しても、使用期間が極端に短くなったら充電池の寿命です。新しい充電池との交換（有料）は、ニコンサービス機関にご相談ください。お客様ご自身で充電池を交換することはできません。

本体充電ACアダプターについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（🕮iii～vii）をお守りください。

- 本体充電AC アダプター EH-69Pに対応している機器以外で使わないでください。
- EH-69P 以外の本体充電 AC アダプター、USB-AC アダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。
- EH-69P は、家庭用電源の AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz に対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめの上、お買い求めください。

内蔵メモリーについて

●使用上のご注意

メモリーカードは使えません。

●初期化（フォーマット）について

- 内蔵メモリーを初期化すると、カメラ内のデータはすべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やカメラの故障の原因になります。
  - カメラの電源をOFFにする
  - 本体充電ACアダプターを取り外す

カメラの廃棄について

充電池を内蔵したカメラを廃棄するときは、ニコンサービス機関までお送りください。また、「カメラを譲渡/廃棄するときのご注意」（□ix）をお読みになり、あらかじめメモリー内のデータなどを消去することをおすすめします。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディー

- ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カビや故障を防ぐため、月に一度を目安に電源をONにして、カメラを操作するようおすすめします。

カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50 ℃以上、または－10 ℃以下の場所

「取り扱い上のご注意」の「カメラの充電について」の「保管について」（🕮69）もあわせてお読みになり、記載事項をお守りください。

困ったときは

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせになる前に、以下の項目をご確認ください。

電源・表示・設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源ONの状態で、カメラの操作ができない	• 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。	—
	• 操作できない状態が続くときは、電源を OFF にする操作をしてください。電源がOFFにならない場合は、先のとがったものでリセットボタン（📖5）を押してください。 - 記録中であったデータは保存されません。 - 保存済みのデータはリセットでは失われません。	—

<table>
<tr><th>こんなときは</th><th>考えられる原因や対処法</th><th>📖</th></tr>
<tr><td rowspan="6">カメラを充電できない</td><td>• プラグの接続状態を確認してください。</td><td>2</td></tr>
<tr><td>• セットアップメニュー［パソコン接続充電］が［OFF］になっていませんか？</td><td>62</td></tr>
<tr><td>• パソコン接続充電時は、カメラの電源をOFF にすると、充電も中止されます。</td><td>63</td></tr>
<tr><td>• パソコン接続充電時に、パソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されることがあります。</td><td>63</td></tr>
<tr><td>• パソコン接続充電は、パソコンの仕様、設定または状態によってはできないことがあります。</td><td>63</td></tr>
<tr><td>• ご購入後はじめてカメラを充電するときや、内蔵充電池が切れて日時がリセットされた場合は、パソコンに接続しても充電できません。本体充電ACアダプターで充電してください。</td><td>2</td></tr>
<tr><td>電源をONにできない</td><td>• 電池残量がありません。</td><td>2、10</td></tr>
<tr><td rowspan="5">カメラの電源が突然切れる</td><td>• 電池残量がありません。</td><td>2、10</td></tr>
<tr><td>• 低温下ではカメラが正常に動作しないことがあります。</td><td>68</td></tr>
<tr><td>• カメラの電源をON にしたまま、本体充電AC アダプターを接続すると電源がOFF になります。</td><td>2</td></tr>
<tr><td>• パソコンまたはプリンターとの接続中に USB ケーブルが外れると電源がOFF になります。USB ケーブルの接続をやり直してください。</td><td>46</td></tr>
<tr><td>• カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。</td><td>78</td></tr>
</table>

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
液晶モニターに何も映らない	• 電源が入っていません。 • 節電機能で待機状態になっています。シャッターボタンを半押ししてください。 • カメラとパソコンをUSBケーブルで接続しています。 • カメラとテレビをオーディオビデオケーブルで接続しています。	5 14 46 52
カメラの温度が高くなる	• 長時間の動画撮影や高温下での撮影時は、カメラの温度が高くなることがありますが、故障ではありません。	—
液晶モニターがよく見えない	• 液晶モニターが汚れていませんか？	71
撮影日時が正しく表示されない	• カメラの内蔵時計は合っていますか？ 日時をセットアップメニュー［**地域と日時**］で正しく設定してください。 • 日時を設定していない（撮影時に◉（日時未設定）が点滅する）と、静止画の撮影日時は「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時は「2012/01/01 00:00」と記録されます。 • 内蔵時計の精度は腕時計などの一般的な時計ほど高くないので、日時は定期的に設定するようおすすめします。	56 — 56
電源を入れると地域と日時の設定画面が表示される	• 内蔵充電池が切れたため、設定がリセットされました。	3
設定内容が初期状態に戻ってしまった		
液晶モニターが消灯し、電源ランプが緑色で高速点滅する	• カメラ内部の温度が高温になっています。電源をOFFにして、温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。	5

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影できない	• 再生画像やメニュー、設定項目の表示中は、シャッターボタンを押してください。 • 電池残量がありません。 • フラッシュ表示の点滅中は、フラッシュの充電中です。	9 2、10 20
撮影モードにできない	• オーディオビデオケーブルまたはUSBケーブルを外してください。	46、48、52
ピントが合わない	• 被写体との距離が近すぎます。 • オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • 電源を入れ直してください。	81 13 5
画像がぶれる	• フラッシュをお使いください。 • ビーンズバッグなどでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	20 19
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	• フラッシュの光が空気中のホコリなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを㊋［**発光禁止**］にしてください。	20
フラッシュが発光しない	• フラッシュモードが㊋［**発光禁止**］になっていませんか？ • フラッシュモードを⚡［**強制発光**］に設定してください。 • 動画モードになっていませんか？	20 20 —
シャッター音が鳴らない	• セットアップメニュー［**操作音**］が［**OFF**］になっていませんか？ • 動画撮影時はシャッター音が鳴りません。 • スピーカーを指などでふさいでいませんか？	58 15 5
AF補助光が発光しない	• AFエリアの位置や撮影シーンによっては点灯しない場合があります。	13
画像が鮮明でない	• レンズが汚れていませんか？	71

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像がざらつく	• 被写体が暗すぎます。フラッシュをお使いください。	20
画像が暗すぎる	• フラッシュモードが［**発光禁止**］になっていませんか？ • フラッシュが指などでさえぎられていませんか？ • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • 逆光で撮影していませんか？	20 8 20 23 —
画像が明るすぎる	• 露出を補正してください。	23
赤目以外の部分が補正された	• フラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。	21
画像の記録に時間がかかる	• 以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。 ・ノイズ低減機能の作動時 ・フラッシュの赤目軽減機能の作動時	—
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	• 逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様（ゴースト）等が写し込まれることがあります。光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。	—

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像の拡大表示ができない	• 動画は拡大表示できません。	—
［フィルター効果］を適用できない	• 動画は編集できません。 •［**フィルター効果**］が使用可能な条件を確認してください。	40 40

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像がテレビに映らない	• ［**ビデオ出力**］は正しく設定されていますか？ • メモリーに画像が記録されていません。	61 —
画像のお気に入り登録が解除されている	• メモリー内のデータがパソコンで書き換えられると、再生できないことがあります。	—
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2 が自動起動しない	• カメラの電源がOFF になっていませんか？ • 電池残量は十分ですか？ • USBケーブルを正しく接続していますか？ • 対応OS を確認してください。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • ViewNX 2 のヘルプをご覧ください。	5 10 46 — 46 47
カメラをプリンターに接続しても、PictBridge 画面が表示されない	• PictBridge 対応プリンターの種類によっては、［**パソコン接続充電**］を［**AUTO**］に設定中はプリントできない場合があります。［**パソコン接続充電**］を［**OFF**］にして、プリンターに接続し直してください。	62
プリントする画像が表示されない	• メモリーに画像が記録されていません。	—
カメラ側で用紙設定ができない	• PictBridge対応プリンターでも、以下の場合に「用紙設定」はカメラではできません。用紙サイズは、プリンター側で設定してください。 - カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 - 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。	—

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下のとおりです。

表示	考えられる原因や対処法	📖
◎（点滅）	カメラの時計が設定されていません。日付と時刻を設定してください。	56
電池残量がありません	カメラを充電してください。	2
カメラが高温です。電源をOFFにします	カメラの内部が高温になっています。このメッセージが出ると電源ランプが高速点滅を開始し、5秒後に電源がOFFになります。カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。	—
AF●（赤色点滅）	ピントを合わせることができません。 • ピントを合わせ直してください。 • 等距離にある別の被写体でピントを合わせるAFロックをお試しください。	9、13 18
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中です。記録が完了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	—
メモリー残量がありません	データを記録する空き容量がありません。 • 画像モードを変更してください。 • 不要な画像を削除してください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップしてください。	24 42、45
画像を保存できません	画像記録中にエラーが発生しました。メモリーを初期化してください。	59
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。メモリーを初期化してください。	59
動画記録できません	メモリーに動画を記録するのに時間がかかっています。	—

表示	考えられる原因や対処法	📖
撮影画像がありません	撮影済みの画像がありません。	—
	お気に入り登録された画像がないときにお気に入り表示にしました。画像をお気に入り登録してください。	35、37
このファイルは表示できません	画像ファイルが壊れています。	—
表示できる画像がありません	スライドショーで再生できる画像がありません。	—
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	—
これ以上お気に入り登録できません	すでに999コマの画像がお気に入りに登録されています。画像のお気に入り登録を解除してください。	35
レンズエラー	レンズの作動不良です。電源を入れ直してください。直らない場合は先のとがったものでリセットボタン（📖5）を押してください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	—
通信エラー	プリンターとの通信中に、エラーが発生しました。カメラの電源をOFF にして、USBケーブルを接続し直してください。	48
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。電源を入れ直してください。直らない場合は先のとがったものでリセットボタン（📖5）を押してください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	—
プリンターエラー：プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。プリンターを確認して、エラーの原因を取り除いた後、［**継続**］をタッチしてプリントを再開してください。※	—
プリンターエラー： 用紙を確認してください	指定したサイズの用紙がセットされていません。指定したサイズの用紙をセットしてから、［**継続**］をタッチしてプリントを再開してください。※	—

表示	考えられる原因や対処法	📖
プリンターエラー： 紙詰まりです	用紙が詰まりました。詰まった用紙を取り除いた後、［**継続**］をタッチして、プリントを再開してください。※	—
プリンターエラー： 用紙がありません	用紙がセットされていません。指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］をタッチしてプリントを再開してください。※	—
プリンターエラー： インクを確認してください	インクに異常があります。インクを確認した後、［**継続**］をタッチしてプリントを再開してください。※	—
プリンターエラー： インクがありません	インクがなくなりました。インクを交換した後、［**継続**］をタッチしてプリントを再開してください。※	—
プリンターエラー： ファイルが異常です	プリントする画像ファイルに異常があります。［**キャンセル**］をタッチしてプリントを中止してください。	—

※ プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

主な仕様

ニコン デジタルカメラ COOLPIX S01

項目		仕様
型式		コンパクトデジタルカメラ
有効画素数		1014万画素
撮像素子		1/2.9型原色CCD、総画素数1034万画素
レンズ		光学3倍ズーム、NIKKORレンズ
	焦点距離	4.1-12.3 mm（35mm判換算29-87 mm相当の撮影画角）
	開放F値	f/3.3-5.9
	レンズ構成	5群6枚
電子ズーム倍率		最大4倍（35mm判換算で約348 mm相当の撮影画角）
手ブレ補正機能		電子式（動画）
ブレ軽減機能		モーション検知（静止画）
オートフォーカス		コントラスト検出方式
	撮影距離範囲	• 先端レンズ面中央から約50 cm～∞ • 撮影シーン（クローズアップ）時は、先端レンズ面中央から約5 cm～∞（広角側）、約50 cm～∞（望遠側）
	AFエリア	中央、顔認識、マニュアル（タッチパネルでAFエリアを選択可能）
画像モニター		2.5型TFT液晶モニター（タッチパネル）、約23万ドット
	視野率（撮影時）	上下左右とも約96%（対実画面）
	視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
記録方式		
	記録媒体	内蔵メモリー（約 7.3 GB）
	画像ファイル	DCF、Exif 2.3、DPOF準拠
	ファイル形式	静止画：JPEG 動　画：MOV（映　像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：LPCMモノラル）
記録画素数（画像モード）		• 10M［3648 × 2736］ • 4M［2272 × 1704］ • 2M［1600 × 1200］

項目	仕様
記録サイズ（動画）	• HD 720p ［1280 × 720］ • VGA ［640 × 480］
ISO感度（標準出力感度）	ISO 80 ～ 1600
露出	
測光モード	マルチパターン測光（256分割）、中央部重点測光（電子ズームが2倍未満のとき）、スポット測光（電子ズームが2倍以上のとき）
露出制御	プログラムオート、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
シャッター方式	メカニカルシャッターと CCD 電子シャッターの併用
シャッタースピード	1/2000 ～ 1秒
絞り	電磁駆動によるNDフィルター（−3 AV）選択方式
制御段数	2（f/3.3、f/9.3［広角側］）
セルフタイマー	約 10秒
内蔵フラッシュ	
調光範囲（ISO感度設定オート時）	約 0.5 ～ 1.4 m（広角側） 約 0.5 ～ 0.8 m（望遠側）
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース	Hi-Speed USB
通信プロトコル	MTP、PTP
ビデオ出力	NTSC、PAL
入出力端子	オーディオビデオ（AV）出力/ デジタル端子（USB）
表示言語	日本語、英語
電源	リチウムイオン充電池 （内蔵）
充電時間	約2時間50分（本体充電ACアダプターEH-69P使用時、残量のない状態からの充電時間）
電池寿命※1	
静止画撮影時	約190コマ（内蔵充電池）
動画撮影可能時間（実撮影電池寿命）※2	約1時間10分（内蔵充電池）
ケース（別売）	CS-CP4-1（ストラップ付き）

寸法（幅×高さ×奥行き）	約77.0×51.2×17.2 mm（突起部除く）
質量	約96 g
動作環境	
使用温度	0℃ ～ 40℃
使用湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による温度条件23℃（±3℃）で、フル充電バッテリー使用時のものです。

※1 電池寿命測定方法を定めた CIPA 規格によるものです。静止画の測定条件は、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画像モード10M［**3648 × 2736**］。動画設定は、720P［**HD 720p（1280×720）**］です。数値は、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用環境によって異なります。

※2 1回の撮影で記録可能な時間は、メモリーの残量が多いときでも最長29分までです。また、カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。

本体充電ACアダプター EH-69P

電源	AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz、0.068-0.042 A
定格入力容量	6.8～10.1 VA
定格出力	DC 5.0 V、550 mA
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 55×22×54 mm
質量	約 55 g

説明書について

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- **Design rule for Camera File system (DCF)**：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- **DPOF (Digital Print Order Format)**：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- **Exif Version 2.3**（Exif = Exchangeable image file format for digital still cameras）：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。詳しくはプリンターの説明書をご覧ください。
- **PictBridge**：デジタルカメラとプリンターメーカーの各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像を、パソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

AVC Patent Portfolio License

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i)AVC 規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）

(ii)個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

http://www.mpegla.com をご参照ください。

FreeType License（FreeType2）

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project（http://www.freetype.org）のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License（HarfBuzz）

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The HarfBuzz Project（http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz）のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

商標説明

- PictBridgeロゴは商標です。
- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTimeは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の登録商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

索引

マーク・英数字

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン　カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

- ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。
- ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。
  ※ メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>
全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

0570-02-8000
一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30 ～ 18:00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。
ファクシミリでのご相談は、（03） 5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>
下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。

※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。

0120-02-8155 営業時間：9:00～18:00（年末年始12/29～1/4を除く毎日）

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。
製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<（株）ニコンイメージングジャパン　修理センター>
230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26

0570-02-8200
一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03） 6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング／サポートページ>

- http://www.nikon-image.com/support/
  最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。
  ※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。
- http://www.nikon-image.com/support/repair/
  「ニコン　ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

SB2H01(10)
6MNA9910-01